

# ひょうごの遺跡

昭和59年7月25日発行  
兵庫県教育委員会  
社会教育・文化財課  
〒674 明石市魚住町清水字  
立合池の下630-1 魚住分館  
TEL (078) 947-0621

〔題字 教育長 井野辰男書〕

さんるいかんとう た ち

## 三累環頭大刀を出土した古墳

——中井古墳群（竜野市竜野町中井）——

60. 3.-9

中井古墳群は山陽自動車道建設に伴って、昭和58年6月から9月にかけて兵庫県教育委員会が発掘調査を実施した古墳群です。

古墳群は竜野市竜野町中井字向山にあり、4基の古墳が確認されています。今回調査を行った2基の古墳は、水田より一段高い、丘陵裾部の平坦面に立地しています。どちらも直径20m近くの円墳で、ほぼ完全な形で残っていた横穴式石室を埋葬施設としています。とくに、2号墳は全長11.1mと竜野市内の横穴式石室では、最大の規模を誇っていて、県下全体を見わたしても大型の石室と言えます。

1号墳の規模は、2号墳よりやや小さいものの大型の石室で、全長9.0m、玄室長3.2m、最

大幅2.4m、羨道長5.8m、羨門幅1.5mの規模があります。

古墳は古くから開口していたこともあって、石室内は荒されていましたが、1・2号墳とも2面の埋葬面を検出しました。

1号墳の第1次埋葬面では、奥壁付近から鉄刀2本が出土し、そのうちの1本には飾金具が付いていました。把頭の分類から三累環頭大刀と分類されるもので、C字形の銅芯3個を山形に配したものです。把頭以外の外装には、鞘口金具・鞘尻金具などがあり、全て青銅製で、銀メッキされていた可能性が高いものです。わが国からは約30例ほどが知られていますが、兵庫県からは初めての出土です。



三累環頭大刀の出土状況





中井 2 号墳出土三累環頭大刀

## 兵庫県下の装飾大刀<sup>たち</sup>

実用の鉄製武器は、弥生時代中期後半（約1900年前）ころ、北部九州地方の墓の副葬品にはじめてみられます。そのうち、手にもって切ったり、突いたりする刀や剣は、古墳時代では戦闘方法の変化や製作技術の進歩などによって、しだいに刀が重視されています。

ふつう両刃になったものを剣、片刃になったものを刀と呼び、刀のうち短いものを刀子<sup>とうす</sup>、長いものを大刀として区別します。大刀はわずかに内反りになったものをのぞけば、直刀が普通の形です。

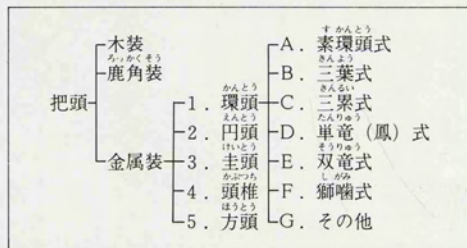
古墳時代の大刀の把や鞘などの装飾法はいろいろありますが、簡素な木製のものが一般的で、そのほか鹿の角を加工してこしらえた鹿角装、あるいは鉄・金銅・金銀装などがあります。古墳に埋葬された人々は、刀剣を常に身にそえて防備するとともに、権威を誇らしげに示したのでしょう。その所有量と装飾の程度によって、墓に葬られた人の階層を反映していると考えられます。とくに中期から後期にかけては、把頭・鐔・鞘金具などに豪華なものがみられ、これらの装飾大刀をもち得た者は、ごく一部の勢力者であったと思われます。大刀の外装は、大きく分けて把（手でにぎるところ）、鞘（刀身を

石室からは刀のほか、<sup>つき</sup>環・<sup>たかつき</sup>高環・<sup>ちようけいづぼ</sup>長頸壺・<sup>よこ</sup>横瓶などの須恵器、鉄鍬や馬具などの鉄製品も出土しています。

出土遺物から古墳の築造時期は6世紀末ごろと思われ、7世紀初めまで、追葬が行われたようです。なお、規模の大きな方の2号墳は、全長11.1m、玄室の長さ3.8m、幅2.1m、高さ2.6mを測り、築造時期は1号墳とほぼ同じ、6世紀末ごろでしょう。中井古墳群は古代山陽道のすぐ南側にあたり、古墳時代においても交通の重要な地点に立地していたと考えられます。また山陽道を隔てて北側に、奈良時代の中井廃寺が建立されていることなども、古墳の性格を考えるうえで重要でしょう。

納める筒）、鐔（把と刀身との境目にはめこみ、把を握る手を保護するもの）の3つの部分からなります。このうち、もっとも一般的な大刀の分類に使われているのが、把頭の部分の形で、次のように分類されています。

兵庫県下の装飾大刀は、大刀形式がわかるものは18例ほどが知られています。そのなかで環頭大刀は簡単な環を刀身と共造りした素環頭大刀、環状のなかに龍ないしは鳳凰の頭部を1(単)頭あるいは2(双)頭描いたものや、三枚の植物の



葉を表わした三葉環、三つの素環頭が連続した形の三累環頭が出土しています。また把の頭部が丸味をおびた円頭大刀や、四角な形をする方頭大刀、頭部が山形を示す圭頭大刀、また把頭にぎりこぶしのようにふくらんだ頭椎大刀などがあります。

そのほかに、博山炉を表現した特異な環頭大刀



などが知られています。地域的には摂津1、播磨9、丹波2、但馬6振りが出土し、そのうち

但馬や播磨北部の出土数と大刀様式が注目されます。



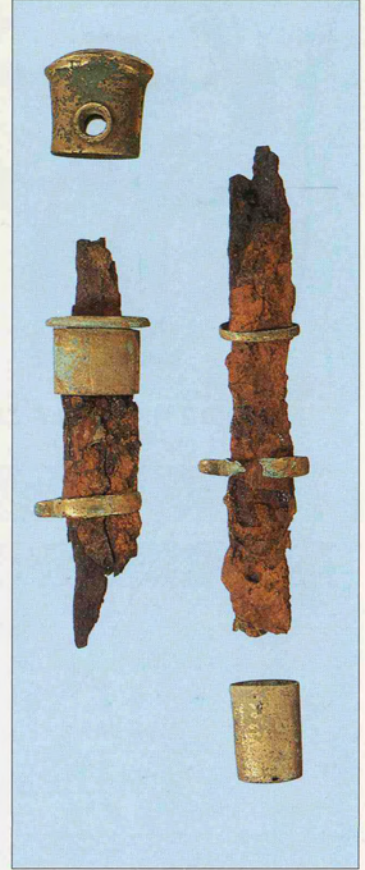
文堂古墳出土  
頭椎大刀



宮山古墳出土素環頭および  
三葉環頭大刀



長尾古墳出土  
頭椎大刀



中垣内古墳出土円頭大刀



宮山古墳出土素環頭大刀把頭





山田 2 号墳出土単鳳式環頭



文堂古墳出土双龍式環頭把頭

### 県下出土の装飾大刀地名表

通番	古 墳 名	所 在 地	大 刀 形 式
1	大 薮 古 墳	養父郡養父町大薮	環頭大刀単龍式
2	奥 谷 蕪 谷 古 墳	多紀郡篠山町殿町	〃 〃
3	山 田 2 号 墳	多紀郡丹南町大山下	〃 単鳳式
4	佐用都比売神社	佐用郡佐用町本位田	〃 単龍式
5	高 畑 2 号 墳	佐用郡三日月町新宿高畑	〃 双龍式
6	文 堂 古 墳	美方郡村岡町寺河内	〃 〃
7	宮 山 古 墳	姫路市四郷町	〃 素環頭式
8	〃	〃	〃 〃
9	〃	〃	〃 〃
10	〃	〃	〃 三葉式
11	〃	〃	〃 銀製異形式
12	中 井 2 号 墳	竜野市竜野中井	〃 三累式
13	中 垣 内 古 墳	竜野市揖西町中垣内	円頭大刀
14	二 見 谷 1 号 墳	城崎郡城崎町二見	圭頭大刀
15	〃	〃	〃
16	長 尾 古 墳	朝来郡和田山町筒江	頭椎大刀
17	文 堂 古 墳	美方郡村岡町寺河内	〃
18	〃	〃	方頭大刀

(把頭のわかるもの)

創刊号で誤りがありました。次のように訂正して下さい。

6 頁 左 23行目 寺中西遺跡 → 寺中遺跡

6 頁 右 30行目 濠<sup>しまり</sup> → 濠<sup>ほり</sup>

6 頁 右 27行目 堀立柱建物 → 掘立柱建物

6 頁 右 33行目 桂建物跡 → 柱建物跡

6 頁 右 29行目 (合子)<sup>ごうす</sup> → (合子)<sup>ごうす</sup>







## 昭和59年度 調査予定遺跡一覧表(県教委実施分)

遺 跡	所 在 地	面 積	期 間	概 要
七日市遺跡	氷上郡春日町上野	17,000㎡	59年 5月～60年 1月	弥生～平安時代 集落址
板井遺跡	氷上郡春日町 上板井・下板井	4,424㎡	59年 4月～59年 7月	中世集落址
西木之部遺跡 (A・C)	氷上郡春日町 西木之部	5,100㎡	59年 7月～60年 2月	弥生・中世集落址
多利古墳群	氷上郡春日町多利	古墳 3 基	59年 4月～59年 5月	古墳時代中～後期
河津館跡	氷上郡春日町東中	2,195㎡	59年 5月～59年 7月	中世館跡
箱塚古墳群	多紀郡西紀町小坂	古墳 3 基	59年 7月～59年 9月	横穴式石室
酒井館跡	多紀郡丹南町 初田・牛ヶ瀬	3,055㎡	59年 9月～59年12月	中世館跡
篠山城 石切場	多紀郡丹南町当野	3,200㎡	59年 8月～59年 9月	篠山城石切場
庄境 2 号墳	多紀郡丹南町大沢新	古墳 1 基	59年 9月～59年10月	横穴式石室
青野ダム遺跡群	三田市末西乾	2,850㎡	59年 8月～59年11月	弥生～奈良平安散布地
奈良山遺跡	三田市貴志	250㎡	59年 4月～59年 5月	近世墓
桑原遺跡	三田市桑原	500㎡	59年 5月～59年 7月	弥生～古墳時代集落址
下加茂遺跡	川西市加茂	7,400㎡	59年 5月～59年10月	中世集落址
楠荒田遺跡	神戸市兵庫区楠町	885㎡	59年 6月～59年 9月	縄文～中世集落址 福原京推定地
田中遺跡	神戸市西区玉津町	8,398㎡	59年 4月～60年 1月	弥生～中世集落址
上原田遺跡	姫路市花田町上原田	2,850㎡	59年 5月～59年10月	寺院址
平方遺跡	揖保郡太子町上太田	990㎡	59年10月～59年11月	弥生～古墳時代集落址
半山遺跡	揖保郡揖保川町町屋	古墳 2 基 及び186㎡	59年 9月～59年12月	古墳 2 基 他
福田片岡遺跡	竜野市誉田町福田	5,352㎡	59年 4月～59年11月	弥生～中世集落址・水田址
宝林寺北遺跡	竜野市揖保町門前	3,500㎡	59年 4月～59年 7月	弥生～中世集落址・墓址
寺中西遺跡	洲本市納字寺中	2,050㎡	59年 4月～59年 5月	弥生～中世集落址・墓址
谷町筋遺跡	三原郡西淡町	5,000㎡	59年 5月～59年 8月	弥生～中世集落址
叶堂城遺跡	三原郡西淡町松帆	773㎡	59年 4月～59年 6月	中世城跡

## 魚住分館の移転

昭和56年 9 月から約 3 年間、発掘調査・遺物整理などの基地となっていた魚住分館が、昭和 59 年 8 月 1 日付けで、次のところに移転することになり、引越しの準備におわれています。

## 移転先

## 兵庫県埋蔵文化財調査事務所

(〒652)神戸市兵庫区荒田町2丁目1番5号  
(電話 078-531-7011～4)